

科目区分	専門分野 I	科目名	看護理論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第2学期
担当講師	栗井 京子(臨床経験20年、教育経験12年)				
科目目標	<p>看護の見方・考え方の基盤として看護理論全般について学習し、その中から代表的な理論家の理論内容を看護実践へ活用する方法について理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護理論を構成する概念について理解する。</li> <li>2. 看護理論が出現した社会的背景から、代表的な理論家の理論内容を理解する。</li> <li>3. 看護理論を実践へ活用する方法について理解する。</li> <li>4. 看護理論を学習することにより、看護の見方・考え方の基礎を習得する。</li> </ol>				
<b>授業概要</b>					
第1回	<b>看護の本質と看護理論</b>			(講義)	
第2回	<b>看護理論の歴史の変遷と特徴</b>			(講義)	
	看護理論の種類 1) 大理論・中範囲理論・小範囲理論 2) 人間関係論的な看護理論、対象論的な看護理論、働きかけ論的な看護理論 看護理論を理解するための枠組み				
第3回	<b>看護理論家の看護理論</b>			(GW)	
第4回	1) フローレンス・ナイチンゲール			(GW)	
第5回	2) ヴァージニア・ヘンダーソン			(GW)	
第6回	3) ドロセアE.オレム			(GW)	
第7回	4) ジョイス・トラベルビー			(GW)	
	5) シスター・カリスタ・ロイ				
	6) パトリシア・ベナー				
第8回	<b>終了試験</b>				
<b>看護師国家試験出題基準</b>					
理論家みる看護の定義、看護理論家の看護概念					
<b>授業の進め方</b>					
テキスト、及び配布した資料に基づき講義を実施する。 グループワークでは、看護理論を理解し看護にどう活かしていくのかディスカッションし発表する。					
<b>履修のポイント・留意事項</b>					
グループワークでは、自分の意見を述べ、メンバーの意見も聞き、グループとしての考えを協力してまとめていくことが重要である。					
<b>テキスト</b>					
<b>教科書</b>					
ケースを通してやさしく学ぶ看護理論 日総研 看護覚え書 現代社 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会					
<b>参考書</b>					
実践に生かす看護理論19 医学芸術社 看護理論 看護理論20の理解と実践への応用					
<b>評価方法・配点</b>					
終了試験(筆記試験)で評価する。 グループワークでの成果を点数化し、終了試験の得点に加味する。 終了試験、グループワークの成果、授業への取り組み状況で、総合的に評価する。					